

令和元年 11 月 20 日
 海事局 海洋・環境政策課
 内航課

国内初の「LNG 燃料フェリー」が建造されます

今般、国内初の「LNG 燃料フェリー」が建造されることになりました。LNG 燃料の採用により、従来のフェリーと比較して二酸化炭素 (CO₂) 排出量の 20%以上低減が見込まれます。国土交通省及び経済産業省は、この LNG 燃料フェリーの建造を支援しています。

今般、株式会社商船三井により、国内初となる「LNG 燃料フェリー」2 隻が建造されることになりました。

本船は、株式会社フェリーさんふらわあが借り受け、同社が運航する大阪～別府航路において既存船の代替として、2022 年末から 2023 年前半にかけて順次就航する予定です。

(参考) (株) 商船三井、(株) フェリーさんふらわあ、三菱造船 (株) の 3 社共同会見実施
 商船三井プレスリリース
<https://www.mol.co.jp/pr/2019/19088.html>
 フェリーさんふらわあプレスリリース
https://www.ferry-sunflower.co.jp/news/article/osaka_beppu_LNG_ferry.html

LNG 燃料は、従来の燃料 (船舶用重油) と比較して以下のような優れた環境性能を有しています。

- ・発熱量あたりの二酸化炭素排出量が 20%以上減少
- ・硫黄酸化物 (SO_x) の排出量がほぼゼロ

内航船の大幅な省エネや省 CO₂ を進めるため、国土交通省及び経済産業省は「内航船の運航効率化実証事業 (内航船の総合的な運航効率化措置実証事業)」を実施しています。本年 10 月 24 日、同実証事業において、今般の LNG 燃料フェリーは先進的省エネルギー船舶であるとして、その省エネ効果に関する実証事業を行うこととしています。

国土交通省では、このような先進的な取組への支援等を通じ、LNG 燃料船の普及促進及びそれによる内航船の省エネルギー化・省 CO₂ 化に努めて参ります。



LNG 燃料フェリーイメージ図 (商船三井 HP より)

主要項目

| | |
|-----------|----------------|
| 乗客数 | 最大旅客定員 763 名 |
| トラック積載可能数 | 136 台 (13m 換算) |
| 航行速力 | 22.5 ノット |
| 全長 | 約 199.9m |
| 総トン数 | 約 17,300 トン |

参考：「内航海運の省エネルギー化実証事業を採択しました！」

(https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji07_hh_000138.html)

【問い合わせ先】(代表) 03-5253-8111

海事局 海洋・環境政策課 中村、鈴木 (内線) 43-902、43-914

(直通) 03-5253-8636 (FAX) 03-5253-1644

内航課 今元、前田 (内線) 43-451、43-454

(直通) 03-5253-8626 (FAX) 03-5253-1643

